



# 第20期 物流経営士課程

～物流新時代をリードする若手経営者、経営幹部のために～

令和元年10月24日～令和2年7月22日



1

## 物流経営士認定

修了後の試験に合格することにより、(公社)全日本トラック協会から「**物流経営士**」として認定されます。



2



## マネジメント能力

専門講師陣により、経営の基礎から物流の方向性まで幅広い知識が学べます。  
視野の拡大とマネジメント能力・プレゼンテーション能力が向上します。

3

## ヒューマン・ネットワーク

宿泊研修を含む10か月間の長期研修を通じ受講生同士のヒューマン・ネットワークが構築できます。  
開校以来、輩出された**500名以上**の物流経営士との間においても、ヒューマン・ネットワークが大きく広がります。



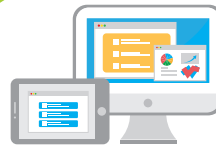
4



## ビジネスチャンスをつかむ

いち早く有効な情報を見いだして、ビジネスチャンスをつかむ能力を高めます。

5



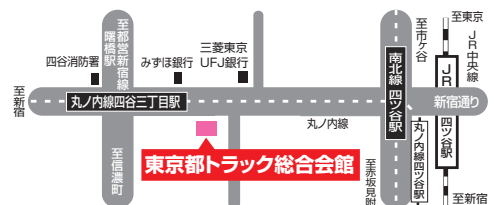
## ITスキル

ビジネス・データ処理技術やパソコンを用いたシミュレーション分析などのスキルが学べます。

一般社団法人 東京都トラック協会

〒160-0004

東京都新宿区四谷3-1-8 東京都トラック総合会館内  
TEL. 03-3359-4137 FAX. 03-3359-6020



・東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅下車徒歩3分

# 本講座のねらい



自社計画の発表

トラック運送事業は、国民生活や産業活動を支えるライフライン（生命線）として、重要な役割を担っています。一方、その経営実態は、規制緩和後における競争の激化や燃料費の高騰、環境問題への対応、ドライバー不足などにより、厳しさを増してきています。さらには、産業・消費・流通等の構造変化、ITの高度化や物流体系の変革などにより、今、物流環境はダイナミックに変貌しようとしています。

本講座は、こうした大きな環境変化を踏まえ、トラック運送事業における人材の育成と経済競争に耐え得る近代的な経営体質の構築をめざし、物流新時代を乗り越えるための様々なスキルを身につけるとともに、「物流経営士」として資格認定を受けることをねらいとしています。

## 本講座の特色



- 中小事業者にとって役立つ実例を豊富に取り上げ、理解を助けます。
- 座学だけでなく、グループ討議と発表の機会を届け、問題発見と解決能力、折衝能力を身につけます。
- パソコンを使った経営分析や車両・顧客管理、パワーポイントによる効果的な提案書の作成手法などが効果的に学べます。
- 宿泊研修などにより仲間づくりができ、交流の輪が広がります。
- 修了論文である自社の将来計画作りを通して、自社の抱える課題や進むべき方向性が明らかになり、会社経営に役立てることができそうです。
- 本講座だけのオリジナルテキストとして、プログラム化された「アクティブ・テキスト」を用います。
- 「物流経営士」資格の取得により、第19期までの先輩たちの仲間入りができ、同じ「物流経営士」としてヒューマン・ネットワークを通じ活躍の場が広がります。
- 全国の物流業界におけるリーダーとしての役割が期待されます。



グループ討議

## カリキュラム検討会議委員

- 中田 信哉 神奈川大学名誉教授
- 湯浅 和夫 (株)湯浅コンサルティング代表取締役社長
- 横山 真一郎 ブレインウェア大学教授

# 第20期 物流経営士課

## 物流総論

我が国の産業構造の中で物流の占める位置と将来展望を学び、視野を広げます。

【到達目標】 自社や自分の進むべき方向性を見極める。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
物流総論	1	ロジスティクスの現状と将来	○ダイナミックに変貌する物流環境の現状と将来展望	中田信哉〔神奈川県立大学名誉教授〕
	1	トラック業界と協会の現状と課題	○物流の根幹を担うトラック業界とトラック協会の現状と課題	(一社)東京都トラック協会役員
	2	物流政策と法令	○我が国物流政策の最新情報と物流二法等関連法令の基礎	(公社)全日本トラック協会役員
	2	交通行政と物流	○激化する首都東京の交通状況と交通行政の方向性 ○道路交通法等関係法令のポイント	別部鎮雄〔交通問題研究所主宰〕
合計時間数	6			

## 経営外部環境

トラック運送事業者として必要な物流に関するキーワードを学び、新分野のロジスティクスニーズに対し、いち早く有効な情報を見だし、ビジネスチャンスをつかむ能力を高めます。

【到達目標】 物流の市場動向と輸配送ニーズを把握し、将来の市場展開の道筋を立てる。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
外部環境	2	物流業論	○荷主ニーズ変化への対応 ○コア・コンピタンス戦略 ○総合化、専門化等物流事業者の進むべき方向性	山田 健〔山田経営コンサルティング事務所代表〕
	2	静脈物流とリサイクル	○循環型社会の形成と物流の役割 ○リサイクル法と物流	山根六三郎〔シンク・テック・サービス(株)代表取締役〕
	4	ロジスティクス技法	○在庫管理 ○物流 ABC	内田明美子〔(株)湯浅コンサルティング コンサルタント〕
	2	市場戦略	○物流業におけるマーケティング、マーケット・ニーズの把握 ○商品戦略と商品開発 ○効果的な提案書の作成	重田靖男〔(株)東京ロジスティクス研究所顧問〕
	2	マーケティングの実際	○先進企業の事例 ○効果的な営業戦略	重田靖男〔(株)東京ロジスティクス研究所顧問〕
	2	環境対応	○環境問題の現状 ○自動車エンジンの技術開発の動向 ○新エネルギーの動向	(一社)東京都トラック協会役員
	2	労働問題	○ドライバー不足とその対応 ○長時間労働改善のための方策 ○採用、定着のための工夫	芝田稔子〔(株)湯浅コンサルティング コンサルタント〕
	2	交通安全	○交通事故とコスト ○安全への取り組み	未定
ネットワーク	4	情報ネットワーク	○IT 技術の動向と将来 ○トラック運送事業における IT 活用 ○IT 導入事例	森高弘純〔近代経営システム研究所 代表〕
合計時間数	22			

## 経営内部環境

企業における人・物・金の効率的な運用手法を学び、マネジメント能力を高めます。

【到達目標】 営業・財務・労務などの企業管理体制や輸配送・保管・流通加工など物流システムの効率化をデザインする能力を身につける。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
管理体制の確立	4	営業管理	○公的データによる計数的な営業戦略の立案、マーケティングリサーチと提案入札、運賃その他の料金折衝と見積書の作成、新規・既存顧客へのアウトソーシング提案書の作り方 ○顧客管理・商品管理	武田正治〔東京都市大学名誉教授〕
	2	顧客管理	○トラック運送業にとって顧客とは「発荷主」だけではない。着荷主を含め物流サービスの展開に関係するすべてを顧客と考える。そして、顧客ごとに管理の方法は異なり、顧客間の関係も考えねばならない。	中田信哉〔神奈川県立大学名誉教授〕
	4	財務会計	○財務諸表の見方、作り方 ○決算書の分析、借入れ限度額の判定基準 ○財務分析・コスト管理	林 忠史〔(有)マスエージェント代表取締役〕
	4	資金管理	○資金管理の役割、資金調達と運用、資金管理の分析手法 ○運転資金管理 ○キャッシュフロー計算書の分析	林 忠史〔(有)マスエージェント代表取締役〕
	2	原価計算	○原価の適正な把握 ○事業収益力の向上	森高弘純〔近代経営システム研究所代表〕
	4	労務管理	○トラック運送事業における労務管理の特徴、採用時の適性検査、就業規則労働時間管理、賃金の決め方 ○人材開発体制、勤務評価制度の確立 ○職場環境、労働組合	小林弘和〔社会保険労務士〕
	2	労働関係法令	○労働基準法等労働関係法令	瀧澤 学〔社会保険労務士〕
	4	安全管理	○労働災害防止 ○ハラスメント ○部下指導	中村香織〔キャリアコンサルタント〕
	合計時間数			

※都合により、講師を変更する場合があります。

効率向上と安全対策	4	輸配送管理	○最短ルート（ATISの活用） ○ドライバーの乗務割りと配車 ○運賃折衝のためのデータ整備（時間・距離・作業分析） ○見積原価計算のシステム化	横山真一郎〔ブレインウェア大学教授〕
	2	包装	○包装技術の意義、包装の種類と技術 ○パレット・コンテナ・オリコンと包装の有機関係 ○モジュールとユニットロード化 ○環境問題への対応	長谷川淳英〔長谷川技術士事務所技術士〕
	4	荷役と保管システム	○坪貸料率と作業費の設定 ○荷役・運搬の分析と改善方法、保管システムの種類と利害得失 ○倉庫レイアウトの基本、自動化・機械化の手法	関 護〔㈱ロジスティクス総合研究所 代表取締役社長〕
合計時間数	36			

## 情報処理技術

現代の経営者は、まず計数に敏感でなければなりません。また、IT化がますます進展する中でITツールを駆使する能力が求められます。そこで、基礎的なデータ処理やネットワークの構築、インターネットの活用などに必要な情報処理技術を習得します。

【到達目標】 自社の日常業務をシステム化し、科学的な計数管理体制を確立する。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
情報処理技術	6	ビジネスデータ処理技術	○エクセルによる自社の会計、ドライバー・車両、顧客管理ソフトの作り方	武田正治〔東京都市大学名誉教授〕 横山真一郎〔ブレインウェア大学教授〕他
合計時間数	6			

## 事例研究

同業者や顧客の先進的な事例を現場で学び、実行力を身につけます。

【到達目標】 自社の将来計画を具体的な数字で計画し、モデル化する。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
事例研究	10	資料分析	○自社計画策定のための課題別グループ研究・討議	中田信哉〔神奈川大学名誉教授〕 重田靖男〔㈱東京ロジスティクス研究所顧問〕 横山真一郎〔ブレインウェア大学教授〕 中田信哉〔神奈川大学名誉教授〕
	8	企業見学	○先進企業の物流現場	見学先未定
	2	各社による情報・意見交換会	○経営理念・人材育成手法等	
合計時間数	20			

## 自社将来計画策定

修士論文として、自社の3か年計画を策定します。

【到達目標】 パソコンを用い、シミュレーションモデルで作成した自社3か年計画をパワーポイントで発表する。

講座名	時間数	科目名	主な内容	講師
自社計画策定	2	計画の立て方	○計画策定の方法	中田信哉〔神奈川大学名誉教授〕
	(10)	計画策定	○近未来の自社計画をパソコンで作成（ホームスタディ）	
	8	発表・講評	○自社計画をパワーポイントで発表	中田信哉〔神奈川大学名誉教授〕 湯浅和夫〔㈱湯浅コンサルティング 代表取締役社長〕 横山真一郎〔ブレインウェア大学教授〕
合計時間数	10			

## 課題別討議と発表

合計時間数 6時間

これからの経営者は、顧客に対し、提供サービスの内容や改善策、また、自社の将来構想等を客観的なデータに基づき説明できる能力が求められます。そこで、講義の理解をより確かなものにするのと同時に、討議や説明能力を身につけるため、授業の節目ごとに小グループ討議を行い、その結果を発表します。

## 特別講義

経営者としての常識と経営能力を育てるために、トピックなテーマを選んで講義を行います。

講座名	時間数	テーマ	講師
特別講義	10	経済、社会、物流、経営戦略、IT等の最新情報、実践事例などテーマを選び研修する。5コマ	未定
合計時間数	10		



本課程を修了し、物流経営士の資格を認定された方々から、講座の多方面にわたって、有意義だったとの感想をいただいています。

## 【18期】

### ■ 今後の方向性が明確になりました！

データに基づき物流業界の未来を語る先生の講義は、非常に理論的で分かりやすいばかりか、今後やるべき方向性まで明確にされていました。また、貴重な資料を余すことなく公開していただき、本当にありがたい先生だと感銘を受けました。

### ■ 多岐にわたる講義が学べました！

安全や品質に関する知識習得はもちろん、物流に関する法律の講義、事業戦略の立案方法、そして経営幹部には必須である財務諸表の講義など、非常に多岐にわたる講義が分かりやすく学べました。

### ■ 成長を実感しています！

受講生みんなの豊富な知識とアイデアに多々驚かされ、良い刺激を受けました。また、自分の中で変化や成長をしっかりと感じることもできました。先入観を捨て新しい考えを持つことの大切さを周りの方からしっかりと教えて頂けました。

### ■ 貴重な時間になりました！

この物流経営士課程の一番の醍醐味は、「自社計画の作成」だと思います。経営者や管理職など様々な立場の自社計画をはじめ、抱えている問題や対応策が聞ける滅多に無い機会であり貴重な時間になりました。

## 【17期】

### ■ 同期生各会社と仕事をするのが目標です！

第17期のこれもまた素晴らしい同期生と会えたことは私の財産となっています。ここまで長く同期生と同じ時間を過ごすことは初めてで、同期生との関係は深いものとなれた気がします。私の修了論文は、同期生との新しいビジネスモデルをテーマとしており、最終的には同期生各会社と仕事をするのが私の目標です。

### ■ 講義内容は自身の実になることが多かったと感じています！

講義内容につきましては、現状おかれている物流業界の大変な事情を知っているからこそ共感できる事があり、それを打破するための糸口を教えていただいた感じがしています。また、運賃や荷主交渉だけでなく、管理職として心得ておかなければならない労務管理や人事管理、また安全対策等幅広く学ぶことができ、自身の実になることが多かったと感じています。

### ■ 私自身が成長できました！

たくさんの受講生と出会えることができ、様々な講座を受講した事によって、物流業界の現状や問題点、改善点を知ることができました。講座を受講する度に自分自身の知見が広がる実感が湧き、種々の業態の受講仲間と触れあうことによって私自身が成長できました。



# 年間時間割表

No.	月日	時間	科目	時間数	備考
	10月24日(木)	14:00～14:50	開講式		
1	〃	15:00～16:00	開講記念講演	1	
2	11月2日(土)	12:45～13:35	トラック業界、協会の現状と課題	1	第1回 宿泊研修
3	〃	13:45～15:45	物流業論	2	第1回 宿泊研修
4	〃	16:00～18:00	物流政策と法令	2	第1回 宿泊研修
5	〃	19:00～21:00	各社による情報・意見交換会	2	第1回 宿泊研修
6	11月3日(日)	8:00～10:00	本講座の狙い・修了論文指導	2	第1回 宿泊研修
7	〃	10:00～12:00	環境対応	2	第1回 宿泊研修
8	11月13日(水)	13:30～15:30	静脈物流とリサイクル	2	
9	〃	15:45～17:45	包装	2	
10	11月20日(水)	13:30～15:30	市場戦略	2	
11	〃	15:45～17:45	グループ討議Ⅰ	2	
12	11月23日(土)	10:00～17:00	ビジネスデータ処理技術	6	
13	12月4日(水)	13:30～15:30	マーケティングの実際	2	
14	〃	15:45～17:45	特別講義Ⅰ	2	
15	1月8日(水)	13:30～17:45	ロジスティクス技法	4	
16	1月15日(水)	13:30～17:45	安全管理	4	
17	1月22日(水)	13:30～17:45	荷役と保管システム	4	
18	2月12日(水)	13:30～15:30	原価計算	2	
19	〃	15:45～17:45	特別講義Ⅱ	2	
20	2月19日(水)	13:30～15:30	労働問題	2	
21	〃	15:45～17:45	グループ討議Ⅲ	2	

No.	月日	時間	科目	時間数	備考
22	3月4日(水)	13:30～17:45	情報ネットワーク	4	
23	4月1日(水)	13:30～17:45	営業管理	4	
24	4月8日(水)	13:30～17:45	財務会計	4	
25	4月15日(水)	13:30～15:30	顧客管理	2	
26	〃	15:45～17:45	グループ討議Ⅳ	2	
27	4月22日(水)	13:30～15:30	特別講義Ⅲ	2	
28	〃	15:45～17:45	交通行政と物流	2	
29	5月13日(水)	13:30～17:45	資金管理	4	
30	5月20日(水)	13:30～17:45	輸配送管理	4	
31	5月30日(土)	13:00～17:35	自社計画の策定(課題別研究)	4	第2回 宿泊研修
32	〃	19:00～21:00	(グループ討議)	2	第2回 宿泊研修
33	5月31日(日)	8:00～10:00	(グループ討議)	2	第2回 宿泊研修
34	〃	10:00～12:00	グループ別発表	2	第2回 宿泊研修
35	6月10日(水)	13:30～15:30	交通安全	2	
36	〃	15:45～17:45	特別講義Ⅳ	2	
37	6月17日(水)	9:00～17:00	企業見学	8	
38	6月24日(水)	13:30～17:45	労務管理	4	
39	7月1日(水)	13:30～15:30	特別講義Ⅴ	2	
40	〃	15:45～17:45	労働関係法令	2	
41	7月8日(水)	9:00～18:00	自社計画の発表と講評	8	
42	7月22日(水)	13:40～15:40	資格認定試験		
43	9月3日(木)	16:00～16:40	修了式		

# 受講生募集要領

- **受講資格**
  - ① (一社)東京都トラック協会会員事業者の役員又はその社員で、経営管理職の経験3年以上の方若しくはこれに準ずる方
  - ② 関東トラック協会会員事業者の役員又はその社員で、経営管理職の経験3年以上の方若しくはこれに準ずる方
  - ③ その他特に会長が認めた方

● **募集定員** 32名 (受講が決定した方には、10月中旬受講決定通知書をお送りいたします。)

● **研修期間** 概ね **10か月** (令和元年10月24日～令和2年7月22日。修了式は、9月3日。)

● **授業時間** **総計116時間**

● **場 所** 東京都トラック総合会館内研修室 他

- **受講日、時間**
  - ① 一般講義 原則として水曜日の13時30分～17時45分  
講師の都合により、他の曜日、時間帯になる場合もあります。
  - ② 宿泊研修 レクトーレ葉山湘南国際村 (神奈川県葉山町湘南国際村)
    - 第1回 令和元年11月初旬 (1泊2日) 今後10か月間の学習目標を明らかにするとともに、本講座のねらいや物流業の基礎を学びます。また、受講生同士の交流の場ともなります。
    - 第2回 令和2年5月 (1泊2日) ケーススタディを中心とした演習とグループディスカッションにより修了論文である「自社計画」策定の足がかりを作ります。
  - ③ ビジネスデータ処理 1日
  - ④ 企業見学 1回 (物流先進企業を見学します。)

● **修了資格** 一定割合以上の履修と修了論文「自社計画」の提出 (採点と発表) により、修了証が授与されます。

◆ **物流経営士資格** 本講座を修了された方で、別に行う試験に合格された方には、(公社)全日本トラック協会から「**物流経営士**」資格が授与されます。

- **受講料**
  - ① 東ト協会会員事業者の役員及びその社員 **35万円** (消費税込み)
  - ② 関ト協会会員事業者の役員及びその社員 **35万円** (消費税込み)
  - ③ その他の方 **40万円** (消費税込み)

受講料は、原則として一括前納とします。受講決定通知後、指定口座にお振り込みください。但し、2回の分納 (申し込み時20万円、翌年4月15万円) もできます。

受講料は、途中で受講を辞められてもお返しいたしません。

※(公社)全日本トラック協会から物流経営士課程を修了し、試験に合格した方に、奨励金5万円が交付されます。また、厚生労働省の人材開発支援助成金も条件はありますが、活用できます (詳しくは、各労働局へお問い合わせください)。

● **受講申込** 別紙申込書に必要事項を記載のうえ、所属支部 (関東各県トラック協会会員の場合は所属協会) を経由して、ファックスでお申込みください。  
その他の方は、直接お申込みください。  
申込期間: 8月15日 (木) ~ 9月30日 (月)

● **開講日程**  
開講式: 令和元年10月24日 (木) 14:00 ~ 14:50  
記念講義: 15:00 ~ 16:00  
いずれも東京都トラック総合会館